

看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画

2019.3作成

項目	現状・課題	対応指針	H27	H28	H29	H30	2019年度具体的計画		
業務量	①病棟や日々の業務量に格差がある ②子育て中の看護師が多く、急な休みがある	業務量に見合った人員配置や応援体制を整える	・業務量調査 ・部署間応援体制システム作り	夜間も含め応援体制の導入	継続	・手術棟からの部署固定応援体制のシステム作り	・救急・手術棟のスタッフ毎の部署固定応援の推進		
	③新入院患者の高齢化及び約7割りが緊急入院であり、独居等の患者への対応が煩雑	入院患者の高齢化及び緊急入院の受け入れ態勢の整備	TENAオムツ導入 オムツ交換数減少による負担軽減	入院問診票の整備・運用開始		・入院セットの導入検討	・入院セットの運用開始・推進		
	④診療報酬に係る記録が増加し、超勤に繋がる。	電子カルテリプレイスを視野に入れた記録の効率化を図る。	看護必要度B項目テンプレート作成 ・運用開始		電子カルテリプレイスの準備 ・テンプレートの導入 ・看護ケアのセット化 ・電子パスの導入 ・電子パスの導入	・テンプレートの導入 ・看護ケアのセット化 ・電子パスの導入 ・カーテックス指示転記作業廃止	継続		
	④業務の効率化。	業務形態・物品などの見直し・検討	・分注ホルダー（針刺し防止） ・生食ロック導入	PHSの変更及びナースコールとの対応の子機の必要数検討	ディスプレイおしぼりの導入 清拭タオルのリー導入 PHSの変更	床頭台入れ替え 時間内研修の推進	多様な勤務形態・業務内容の改善 有給の取得の推進		
職場改善環境	煩雑な業務の中でスタッフ間のコミュニケーションが不十分	スタッフ全員参加で職場環境を見直し、改善を図る。				職場環境改善への検討 一部部署でサンキュウカードの導入	職場環境改善への検討 部署でのサンキュウカードの導入検討・推進		
看護職員と多職種との連携及び業務分担	多岐にわたる業務に看護師が関わり、連携ができていないため、看護独自の業務に専念できない。	多職種との協働による業務の効率化	薬剤師	持参薬確認 定数薬管理 定期薬セット 注射薬セット	継続	継続	持参薬確認のフロー改善 後発薬品等パスなどの薬品変更時の作業 ・入退院支援センターによる入院前介入	継続	
			管理栄養士	NST・摂食嚥下機能の評価	食事情報提供書の作成	継続	継続	継続	継続
			リハビリ	摂食嚥下機能の評価	継続	継続	継続	ST・PTの口腔内吸引	継続
			臨床検査技師	外来採血業務 冷蔵庫温度管理 血糖測定器点検	継続	継続	継続	継続	継続
			臨床工学技士	てんとうむし導入 ME機器中央管理化	入職時ME機器管理研修強化	継続	継続	継続	継続
			MSW	地域医療センターアセスメントによる早期介入	救急外来との夜間休日連携システム	継続	継続	・入退院支援センターによる入院前介入	継続
			BCC	BCC札による情報共有・連携促進	経営ミーティングの拡大（情報共有・連携促進）	継続	継続	継続	継続
看護補助者	看護補助者の減少	看護補助者の退職削減・雇用促進		ユニホーム変更	処遇改善の検討 ・賃金 ・定年後の再雇用条件の見直し	雇用の強化 ・ポストイング ・高卒勧誘 ・体験会の開催 ・賃金等の見直し	継続		